

まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和元年 10 月 20 日（日）14 時 00 分～15 時 32 分

場 所：東山会館

出席者：14 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※配布資料確認および日程説明
3. 今年度のまちの動き（資料①）
質疑応答
4. これからのまちづくり（資料②）
5. 懇談
6. その他
(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）
※質疑応答
7. 閉会

《質疑応答》

【栗山赤十字病院について】

町長：

日赤病院が最重要課題。病院の改築には何十億もかかり、やり方次第では町の財政も圧迫しかねない。1 市 4 町で連携して総合病院を計画するのが一番良い方法だと思うが、なかなか他の町と足並みが揃わない。夕張市や由仁町は病院から診療所にダウンサイジングしており、南幌町や長沼町は、札幌圏を向いていて、同じテーブルに着くことができない状況。他の町と違い、栗山町は建物老朽化の問題があるため、今すぐに方向付けをして改築しなければならない。

町民：

診療ができない状態なのか。

町長：

診療はできると思うが、耐震診断では震度 6 強から震度 7 の地震で倒壊の危険性が高いという結果が出ているため、近年災害が多い中で、そのままにしておくことはできない。方法としては、全面改築か耐震補強を行うのだが、古い建物であるため、病院の経営をしながら耐震補強工事をしていくのは非常に困難だと聞いている。実施するとしたら新しく作る方法ではないかと思っている。

町民：

赤字が続いている中で、今と同じような病院を建てるといふことにはならないと思う。現在どのくらいの患者数が来ているのか、今後どれだけ患者を集めれば採算がとれるの

か、具体的な数字はあるのか。患者を集める策がないと、新しく建て替えても厳しいのではないか。

町長：

現在 136 床あり、稼働率が 80%程度と聞いている。100 人程度は入院していて、通院患者もいる。

福祉総括：

町長の話にもあったとおり、病院はまちづくりの根幹である。栗山町民は 60%が日赤病院に入院。専門診療科への入院の必要性もあり、岩見沢市に 22%、札幌圏に 13%が入院している。日赤病院の病床数は 136 床で、約 80%、100 人弱が入院している。現在、国が地域医療構想を進めている。データに基づいた一方的な構想ではあるが、日赤病院に関しては、ダウンサイジングや他町との連携と言われている。改修するにしても、経営も含めてどのように進めていくのかという問題がある。栗山町は公的病院で、他町は公立病院だが、公立病院は 7 割が赤字経営と言われている。日赤病院についても、累積赤字は約 30 億円。近年は病院側の努力もあり、町の支援を受け単年度黒字になっており、今後も単年度黒字が見込まれているが、累積赤字の解消には至っていない。日赤病院は独立採算制をとっており、日赤本部が栗山町の日赤病院の累積赤字を補てんすることはない。これまでの累積赤字との兼ね合いもあり、町と日赤病院とで、建て替えを行うのか、実際建て替えるとすればどのくらいの病床数にするのか、診療科はどうするのか、人口減少の影響も考慮し、本年度中に総合的に判断し結論を出していく。方向性が定まっても 6~7 年はかかる。先日行ったアンケートでは、10%の方に回答いただいたが、厳しい意見もいただいている。今後ご意見を賜りながら議論していきたい。

町民：

単年度で黒字経営をしているということは、ある程度の患者がいるということなのか。

町長：

単年度黒字にはなっているが、これは補助が含まれての経営であって、総合病院が黒字になるということは地方ではありえないと思っている。町からの拠出のうち、特別交付税等で 7 割くらいは入ってくる。実質、町からの持ち出しは 3 割、2,000 万から 3,000 万円だが、それで地域の医療が守られるのであれば、その程度の拠出は必要だと考えている。しかし、今後も黒字化するためには、今の病床数を維持することは難しく、縮小化も必要であると考え。医療サービスをどうしていくのかということこれから日赤病院に求めていく。

町民：

病院は建物よりも中身の問題だと思う。高校も評判が大事だと思う。行きたくないと思うようなものでは難しい。行きたくなるような雰囲気や評判といった、形のないものがとても大事。そこを改善しないと、いずれ同じ結果になるのではないかと思う。

町長：

日赤病院の問題に関して、実際に方向付けを行ってから建築するまで7、8年かかる要因として、医療水準やサービスを含めて、中身をどうするかを詰めていくことに時間がかかる。いただいた意見を踏まえて、これから栗山赤十字病院改築等検討委員会で検討していく。

【栗山高等学校について】

教育次長：

栗山高校の問題に関して、栗山中学校から栗山高校への進学は22%。大多数が岩見沢方面へ進学している。いただいた意見のとおり、評判が非常に大きい理由となっていると思う。

今年、栗山中学校の生徒・保護者に、高校選びについてアンケートを行うと、やはり評判を重視するという結果が出ている。栗山高校は生徒数が少なく、成績が悪くても誰でも入れると言われる。昨年度の卒業生から国公立大学へ進学した生徒も1人いたが、学校の評判や雰囲気が変わらないと子どもたちも選んでくれないのではないかと思う。今後、普通科だけで良いのか、三笠高校のように、栗山独自の職業科を設けたら良いのかなど、議論を交わしている状況。

【北海道介護福祉学校について】

町長：

介護福祉学校について、1クラスでも良いから残していきたいと思っているが、どう思うか。

町民：

個人的には、介護福祉学校に充てている予算を栗山高校に充てて、栗山高校をもっと手厚く、上位生徒の費用補助など特色をつけた方が良いのではないかと思う。

町長：

今後5～6年の中で、町内の介護事業所の人材不足が150～200人出ると予測されている。介護福祉学校があることによって、その不足人材の確保につながるのではないかと考えている。

町民

それならば、介護福祉学校に充てている予算を、町内の介護従事者の待遇改善に充てた方が良いのではないか。介護職離れが進んでいるのは待遇が悪いことが要因であるため、待遇が改善されれば介護を目指す人も増えるのではないか。

町長：

総務省に、34万人の介護人材不足に対しどうするのかと聞いた際に、国は新たな介護人材の養成よりも、外国人雇用者、有資格者の掘り起こし、高齢者雇用で対応しよう

としているとの話だった。しかし、介護施設には、養成校でしっかりと知識を身に着けた介護福祉士が中心となるような仕組みがないと、日本全体の介護システムが崩れてしまうと思う。広域の問題に対し、栗山町が赤字を出して頑張る必要があるのか、北海道全体の問題としてとらえる必要があるのではないかと国から指摘を受けたが、なかなか北海道も動いてくれない現状。現在、栗山町の介護福祉学校以外に、私立の介護学校が道内にもあるが、どんどんなくなっていっている実態。難しい問題ではあるが、なるべく赤字を出さないようにやっていきたい。その中で、状況に応じて決断をしなくてはならないと思っている。

教育長

これからの町内での介護福祉士不足に対し、町としては、介護福祉学校が機能を果たしていかなければならないという考え方。介護人材の育成と並行して、介護福祉学校には、介護のノウハウを町民に伝えていく役割も果たしてほしいと思っている。施設に入りたくても入れないような方々に対し、自宅で介護する方の負担を軽減できるような介護のノウハウを伝える、協力していくといった機能も果たしてほしい。毎年、介護福祉学校から町内施設に2~3人の卒業生が就職しており、欠員補充しているが、人材育成と包括ケア両面の機能を果たしてほしい。今後4年間の計画の中でやるべきことをやり、振り返りをして、今後どうするか決断していく必要があるが、そういった機能も担っている介護福祉学校は、町として必要であるにご理解いただきたい。

【町の土地整備に関して】

町民：

町の土地だと思うが、土管が入っている。土管の下がえぐれており、除雪で引っ掛けたりして危険。新規就農の方もいるし、対策をしてもらった方が安全だと思う。

建設総括：

現場を早急に確認し、対応を協議していく。

【情報インフラに関して】

町民：

昨年から話をしているが、光回線の工事をしてほしい。

町長：

NTTは戸数が少ないと難しいとのことで、方法としては町が実施するしかない。すぐに動くことは難しいが、これから次期総合計画を作成する中でしっかり検討していきたい。

他の地域からも要請があり、同じ町の中で情報格差があってはならないと思っているため、財源も含めて良い方法を検討していきたい。

町民：

若い方が来たら特に必要になると思う。以前、地域全戸の名前を出して要望書を出し

たが、数が足りずにだめだった。民間が動かないなら、町に働きかけていくしかない。

町長：

町として、議員さんのお力も借りて要請を出したが、やはり難しい状況だった。

町民：

携帯電話の電波も届かず圏外になってしまう。せめて携帯がつながるように電波塔を建ててもらっただけでもできないか。

町民：

電波はメーカーごとに別だから、町に要請を出しても難しいのでは？山間部には全然来てくれない。

【町道に関して】

町民：

町道に木が倒れて通行できないことがあったが、最初にどこに連絡したら良いのか。

町長：

町道がふさがれているのであれば、まずは役場に連絡してほしい。

町民：

できれば、倒れてからではなく、危ない木は倒れる前に対策してもらえるとありがたい。電線に木が覆いかぶさったりして危ないところがある。

町長：

状況を確認する必要があるが、さまざまあると思う。気が付いて危ないところは教えてほしい。

町民：

大きな台風がきたりして、もし電気がこなくなったら大変。のんびり構えていられる状況ではないと思う。細い枝に関してはユンボで走った時に対策しているが、太い木が倒れて来たら大変。